資料２

産地生産基盤パワーアップ事業

もうかるブランド推進課

産地生産基盤パワーアップ事業（収益性向上対策）
＜「阿南農業協同組合」のライスセンター再編整備の概要＞

１　産地生産基盤パワーアップ事業（収益性向上対策）について

高収益作物・栽培体系への産地転換を図るため、水田・畑作・野菜・果樹等の園芸品目を対象に産地自らが販売額の１０％以上の増加、又は生産・出荷コストの１０％以上の削減などを目標とする「産地パワーアップ計画」を策定し、収益力強化へ計画的に取り組むための施設・機械整備を支援する。

※対象施設等及び補助率
・生産技術高度化施設、集出荷貯蔵施設等の共同利用施設の整備
・補助率１／２以内等

２　事業の概要

（１）事業実施主体

阿南農業協同組合（代表理事組合長：木村晃、所在地：阿南市）

（２）目的

ＪＡアグリあなん管内のライスセンターは、老朽化による修繕費用の増加や、水稲作付面積の減少に伴うライスセンター処理量の低下により、利用者に対し利用料の負担が増加している。

そこで、既存のライスセンターの再編整備による産地強化を図るため、色彩選別機の導入による品質向上、及び荷受ラインの新設による運営コストの削減により生産効率の向上や輸出にも対応した品質向上につなげる。

３　取組の概要

（１）ライスセンターの集約

旧阿南市北部・南部にそれぞれ３ヵ所（計6ヵ所）あるライスセンターを、北部は阿南ライスセンター、南部は新野ライスセンターの各１ヵ所（計2ヵ所）に集約する。

廃止する４ヵ所のライスセンターは籾集荷場として活用する。

（２）色彩選別機の導入

集約する2ヵ所のライスセンターに新たに色彩選別機を導入し米の品質向上を図る。

（３）共同張込への切り替え

新野ライスセンターの個別張込ラインを共同張込ラインへと切り替え、阿南ライスセンターも含めて共同張込ラインのみの運営とする。

（単位：千円）

施設区分	補助率	事業費(税込)	補助金
乾燥調製施設	１／２以内	１２２，０００	５５，０００

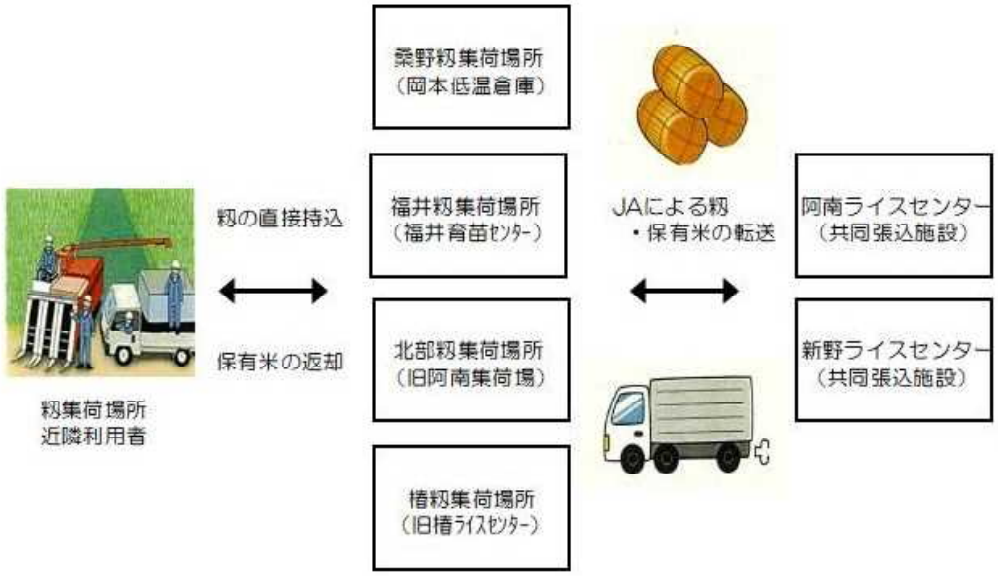
４　施設の概要

（１）乾燥調製施設：色彩選別機９基（阿南ﾗｲｽｾﾝﾀｰ６基、新野ﾗｲｽｾﾝﾀｰ３基）
荷受ライン１式（新野ﾗｲｽｾﾝﾀｰ）
（２）対象品目　　：水稲
（３）設置場所　　：阿南ライスセンター（阿南市西路見町）
新野ライスセンター（阿南市新野町）

５　成果目標（目標年度：令和５年度）

輸出向け出荷量を１０％以上増加
現状（R2）１３６，０５０㎏　→　目標（R5）１５１，０００㎏

ライスセンターの再編イメージ



ライスセンター位置図